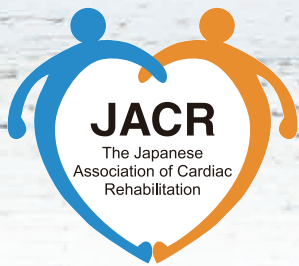


多職種連携による包括的 心臓リハビリテーション



# 日本心臓リハビリテーション学会 第3回東北支部地方会

会期

2018年12月2日(日)

会場

東北大学医学部開設百周年記念ホール  
(星陵オーデトリウム)・医学部会議室

会長

竹石 恭知

福島県立医科大学 医学部  
循環器内科学講座 主任教授

# 日本心臓リハビリテーション学会

## 第3回東北支部地方会

プログラム・抄録集

【会期】 2018年12月2日（日）

【会場】 東北大学医学部開設百周年記念ホール（星陵オーデトリウム）・医学部会議室

【会長】 竹石 恭知（福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座）

# 目 次

東北支部 役員 .....	3
日本心臓リハビリテーション学会支部制度規則 .....	5
会場へのご案内 .....	9
館内案内図 .....	11
ご参加の皆様へ .....	12
日程表 .....	14
プログラム .....	15
抄録	
パネルディスカッション .....	25
一般演題 .....	26
協賛一覧 .....	44

## 東北支部 役員

支部長	下川 宏明	東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野
副支部長	上月 正博	東北大学大学院医学系研究科 内部障害学分野
幹事	伊藤 宏	秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学・呼吸器内科学分野
幹事	久保田 功	山形大学医学部 第一内科
幹事	熊谷 亜希子	岩手医科大学 内科学講座 心血管・腎・内分泌内科分野
幹事	齋木 佳克	東北大学大学院医学系研究科 心臓血管外科学分野
幹事	佐藤 滋	岩手医科大学附属循環器医療センター 心臓リハビリテーション室
幹事	竹石 恭知	公立大学法人福島県立医科大学医学部 医学部 循環器内科学講座
幹事	吉田 俊子	宮城大学 看護学部
庶務幹事	伊藤 修	東北医科薬科大学医学部 リハビリテーション学
庶務幹事	松本 泰治	東北大学大学院医学系研究科 循環器内科学分野

(幹事・庶務幹事は五十音順)

## 東北支部 評議員

評議員	藤野 安弘	青森県立中央病院
評議員	池田 こずえ	篠田総合病院
評議員	菅原 重生	日本海総合病院
評議員	松岡 悟	秋田厚生医療センター
評議員	佐藤 敏光	秋田厚生医療センター
評議員	佐藤 奈菜子	秋田厚生医療センター
評議員	伏見 悦子	平鹿総合病院
評議員	鍛冶 優子	平鹿総合病院
評議員	鎌田 潤也	おおどおり鎌田内科クリニック
評議員	斎藤 雅彦	盛岡赤十字病院
評議員	坂田 泰彦	東北大学病院
評議員	伊藤 大亮	東北大学病院
評議員	河村 孝幸	東北福祉大学
評議員	舟見 敬成	総合南東北病院

評議員	田代 敦	岩手医科大学附属病院
評議員	高橋 祐司	岩手医科大学
評議員	中島 悟史	岩手医科大学附属病院
評議員	高橋 清勝	岩手県立中央病院
評議員	佐藤 千恵	岩手医科大学附属病院
評議員	新保 麻衣	秋田大学医学部附属病院
評議員	高橋 裕介	秋田大学医学部附属病院
評議員	阪本 亮平	中通総合病院
評議員	羽尾 清貴	東北大学病院
評議員	青木 竜男	東北大学病院
評議員	竹内 雅史	東北大学病院
評議員	小松 恒弘	東北労災病院リハビリテーション科
評議員	原田 卓	東北大学内部障害学
評議員	井添 洋輔	東北大学病院
評議員	柿花 隆昭	東北大学病院リハビリテーション部
評議員	瀬戸 初江	東北医科薬科大学病院
評議員	丸子 扶美枝	済生会山形済生病院
評議員	福井 昭男	山形県立中央病院
評議員	有本 貴範	山形大学医学部附属病院
評議員	佐々木 健	山形大学医学部附属病院
評議員	佐藤 崇匡	福島県立医科大学
評議員	遠藤 教子	長者2丁目かおりやま内科

## 第3回地方会

会 長	竹石 恭知	福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座
事務局	佐藤 崇匡	福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座

# 日本心臓リハビリテーション学会支部制度規則

## 第1章 総則

### (支部の設置)

第1条 日本心臓リハビリテーション学会（以下「本学会」という。）は、定款施行細則第45条に基づき、次の各地方に支部（以下「支部」という。）を置く。

- (1) 北海道支部：北海道
- (2) 東北支部：青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県
- (3) 関東甲信越支部：新潟県、群馬県、栃木県、茨城県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県
- (4) 北陸支部：富山県、石川県、福井県
- (5) 東海支部：静岡県、愛知県、岐阜県、三重県
- (6) 近畿支部：滋賀県、京都府、奈良県、大阪府、兵庫県、和歌山県
- (7) 中国支部：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
- (8) 四国支部：徳島県、香川県、愛媛県、高知県
- (9) 九州支部：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

2. 支部は、定款第4章に定める理事会（以下「本部理事会」という。）の議決により、合併、分割及び区分変更をすることができる。

### (支部の構成)

第2条 支部は本学会の会員をもって構成する。

2. 本学会の会員は、勤務地の所在する県が所属する支部に所属するものとする。
3. 勤務地のない会員については、住所地の県が所属する支部に所属するものとする。

### (事務局の設置)

第3条 支部に事務局を置く。

2. 事務局は、支部長が指定する施設に置くことができる。

## 第2章 目的および事業

### (目的)

第4条 支部は、当該地方における本学会及び心臓リハビリテーションに関する学術研究の振興、人材育成、啓発を図ることを目的とする。

### (事業)

第5条 支部は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 学術集会（以下「地方会」という。）の開催
- (2) その他支部の目的を達成するために必要な事業

## 第3章 支部役員

### (支部役員)

第6条 第1条の各支部に次の役員を置く。

- (1) 支部幹事 5人から20人程度
- (2) 庶務幹事 1～2人

2. 支部幹事のうち、1人を支部長、1人を副支部長とする。

### (選任等)

第7条 支部幹事は、前任の支部長、副支部長又は支部幹事の推薦により、前記の支部幹事会が選任する。

2. 支部長は、支部幹事の互選とする。

3. 副支部長は、支部長が指名し、支部幹事会の承認を得る。
4. 庶務幹事は、支部会員の中から支部長が指名し、支部幹事会の承認を得る。

(職務)

第8条 支部長は、支部の業務を総理する。

2. 副支部長は、支部長を補佐し、支部長に事故があるとき又は支部長が欠けたときは、その職務を代行する。
3. 支部幹事は、支部幹事会の決議に基づき、支部の事業を企画しこれを遂行する。
4. 庶務幹事は、支部の運営に必要な業務を行う。

(任期等)

第9条 役員任期は2年とする。但し再任を妨げない。

2. 補欠のため又は増員により就任した役員任期は、それぞれの前任者又は現任者の任期の残存期間とする。
3. 役員は、任期満了後においても、後任者が就任するまではその職務を行わなければならない。

(欠員補充及び解任)

第10条 支部役員欠員補充及び解任は、定款第17条及び同18条を準用する。

2. 前項の場合、定款中「理事長」とあるのは「支部長」、「理事」とあるのは「支部幹事」、「理事会」又は「総会」とあるのは「支部幹事会」とする。

## 第4章 会議

(種別)

第11条 支部の会議は、支部幹事会とする。

(支部幹事会の構成)

第12条 支部幹事会は、支部幹事をもって構成する。

(支部幹事会の権能)

第13条 支部幹事会は、次の事項を決議する。

- (1) 地方会会長の選任
  - (2) 支部における事業計画及び事業報告
  - (3) 支部長及び支部評議員の選任
  - (4) 次期支部幹事の選任
  - (5) 各支部の運営に関する細則の決定・改訂
  - (6) その他必要と認めた事項
2. 前項により決定した事項については学会本部の承認を得る。
  3. 前項により決定した事項は支部会員に周知する。

(支部幹事会の開催)

第14条 支部幹事会は、年1回以上開催する。

(この規則に定めのない事項)

第15条 支部幹事会に関し、この規則に定めがない事項については、定款第33条乃至第38条の例による。

2. 前項の場合、定款に「理事会」とあるのは「支部幹事会」、「理事長」とあるのは「支部長」、「理事」とあるのは「支部幹事」とする。

## 第5章 地方会

(目的)

第16条 地方会は、支部会員の研究発表の場とする。

(地方会の開催)

第17条 地方会は、年1回以上開催し、その時期については本部会計年度末の時期を考慮して決定する。

(地方会会長)

第18条 地方会に会長（以下「地方会会長」という。）を置く。  
2. 地方会会長は、支部幹事（支部長を含む。）の互選により選任する。

(地方会会長の職務)

第19条 地方会会長は、地方会を主宰する。

## 第6章 会計

(支部の事業年度)

第20条 各支部の事業年度は、毎年5月1日に始まり翌年4月30日に終わる。

(支部の事業計画及び予算)

第21条 各支部の事業計画及びこれに伴う収支予算は、毎事業年度ごとに支部長が作成する。  
2. 支部長は、本学会本部の理事会に対し、前項の事業計画書及び収支予算表を提出する。

(支部の事業報告及び決算)

第22条 各支部の会計は、最終的に本部で取りまとめることとし、定款第6章に定める会計に合算する。

(地方会の会計)

第23条 地方会の会計は、地方会会長がつかさどる。  
2. 地方会会長は、地方会の運営につき独立採算の努力をする。  
3. 地方会の計画及びこれに伴う収支予算は、地方会開催ごとに地方会会長が作成する。  
4. 地方会会長は、地方会終了後、速やかに収支報告書を作成し学会本部に報告する。

## 第7章 支部評議員会

(支部評議員)

第24条 各支部に評議員を置く。  
2. 支部評議員の定数は、20人以上50人以下とする。

(支部評議員の選任)

第25条 支部評議員は、支部長、副支部長又は支部幹事が支部会員の中から推薦し、支部幹事会において選任する。

(支部評議員の任期)

第26条 支部評議員の任期は2年とする。但し再任を妨げない。

(支部評議員会)

第27条 各支部に支部評議員会を置く。  
2. 支部評議員会は、支部評議員をもって構成する。  
3. 支部評議員会は年1回以上開催する。  
4. 支部長は、支部評議員会に対し、支部幹事会決定事項を報告する。

(支部評議員会の権能)

第28条 支部評議員会は、支部長の諮問に応じ、支部の運営に関する助言をする。



## 第8章 規則の改廃

(規則の改廃)

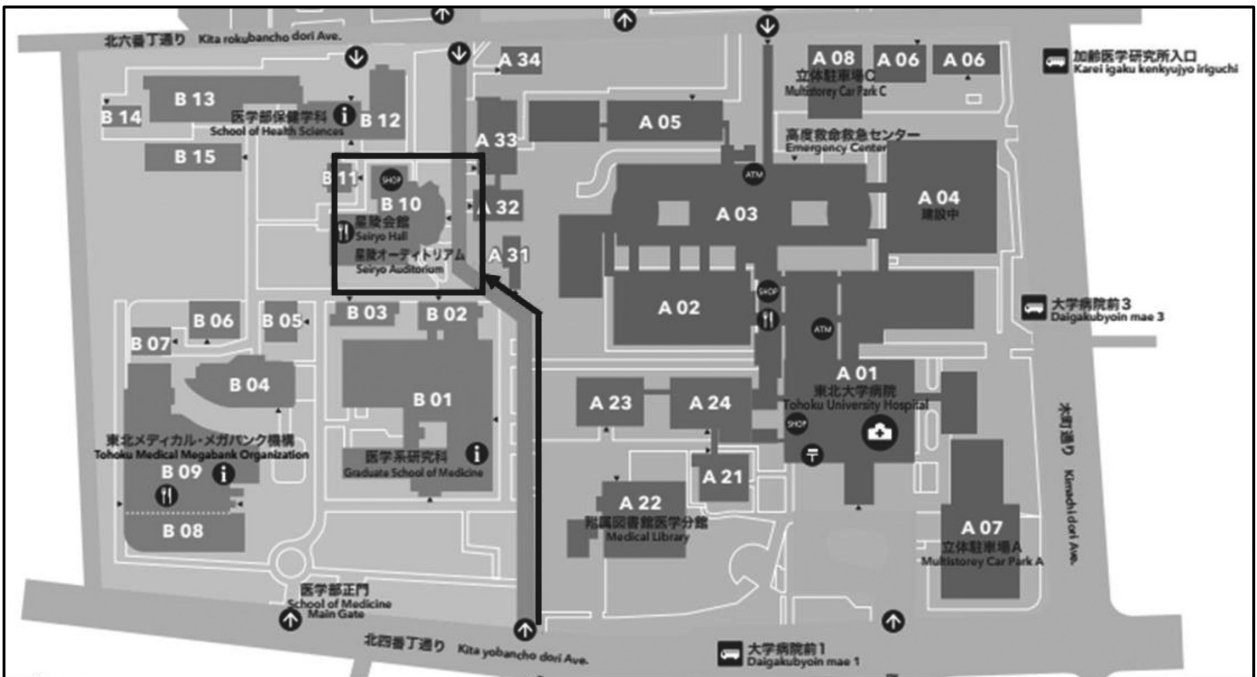
第29条 この規則の改廃は、本部理事会の決議を経て、本学会の理事長がこれを行うことができる。

2. 理事長は、本部評議員会に対し、前項の改廃を報告するものとする。

附則

- 1 支部幹事は、次の条件を満たす者であることを要する。
  - (1) 就任年度の5月1日現在で満65歳以下であること。
  - (2) 定款第9章に定める評議員（以下「本部評議員」という。）であること。
  - (3) 支部幹事にふさわしい実績があること。
  
- 2 支部評議員は、次の条件を満たす者であることを要する。
  - (1) 就任年度の5月1日現在で満65歳以下であること。
  - (2) 支部評議員にふさわしい実績があること。
  
- 3 地方会会計は、次のとおりとする。
  - (1) 各支部には本学会本部から地方会開催準備金が毎年支給される。
  - (2) 地方会会長は参加者に対し参加費を徴収することができる。
  - (3) 地方会開催の案内、プログラム作成、郵送などにかかわる経費、招待講演者の謝礼などに充てる。
  
- 4 各支部の初代役員は、次のとおりとする。
  - (1) 支部長 各支部に所属する本部理事の中から本部理事会により選任された者。所属する本部理事が不在の場合、各支部に所属する「本部評議員」の中から本部理事会から選任された者。
  - (2) 支部幹事 各支部に所属する本部理事及び定款第9章に定める幹事並びに本部評議員の中から初代支部長が指名した者。
  - (3) その他役員 本規則に定める方法により選任された者。
  - (4) 任期は本部任期と同一とするため、初年度は1年とする。
  
- 5 本支部会則は平成27年4月29日より施行する。

# 会場へのご案内



- B 01 医学部1号館  
School of Medicine Building 1
- B 02 医学部4号館  
School of Medicine Building 4
- B 03 医学部0号館  
School of Medicine Building 0
- B 04 医学部5号館  
School of Medicine Building 5
- B 05 先端医療技術トレーニングセンター  
Advanced Medical Training Center
- B 06 教育研究基盤支援棟  
Education and Research Base Support Building
- B 07 工医学実験棟  
Graduate School of Biomedical Engineering Laboratory
- B 08 医学部6号館  
School of Medicine Building 6




- B 09 東北メディカル・メガバンク棟  
Tohoku Medical Megabank Building
- B 10 星陵会館(厚生施設)  
Seiryu Hall (Welfare Facilities)  
東北大学医学部開設百周年記念ホール(星陵オーデトリウム)  
Centennial Hall (Seiryu Auditorium)**
- B 11 フロンティア研究棟  
Frontier Research Building
- B 12 医学部保健学科A棟  
School of Health Sciences Building A
- B 13 医学部保健学科B棟  
School of Health Sciences Building B
- B 14 医学部保健学科C棟  
School of Health Sciences Building C
- B 15 医学部保健学科D棟  
School of Health Sciences Building D

# 会場へのご案内

## ■ 会場外観



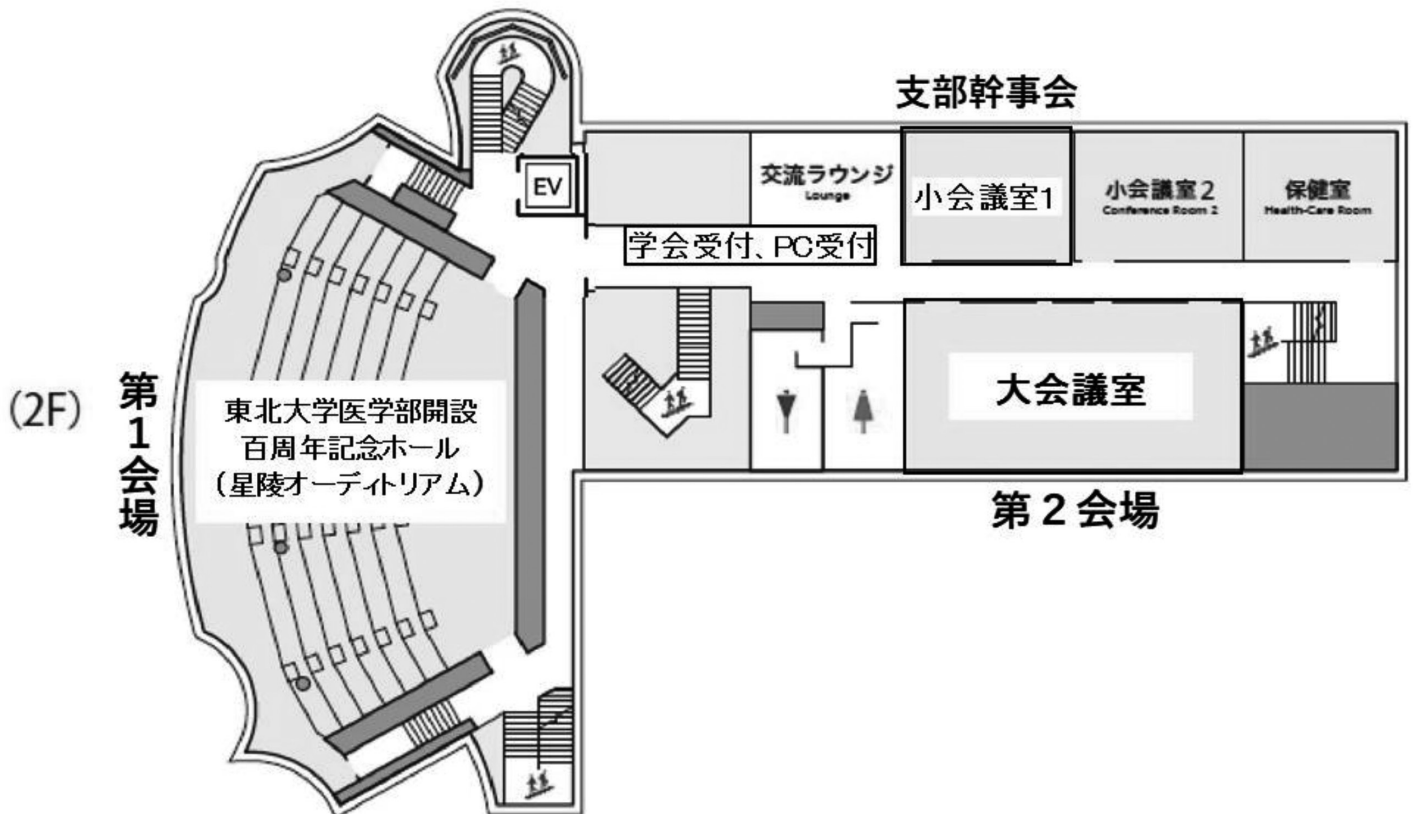
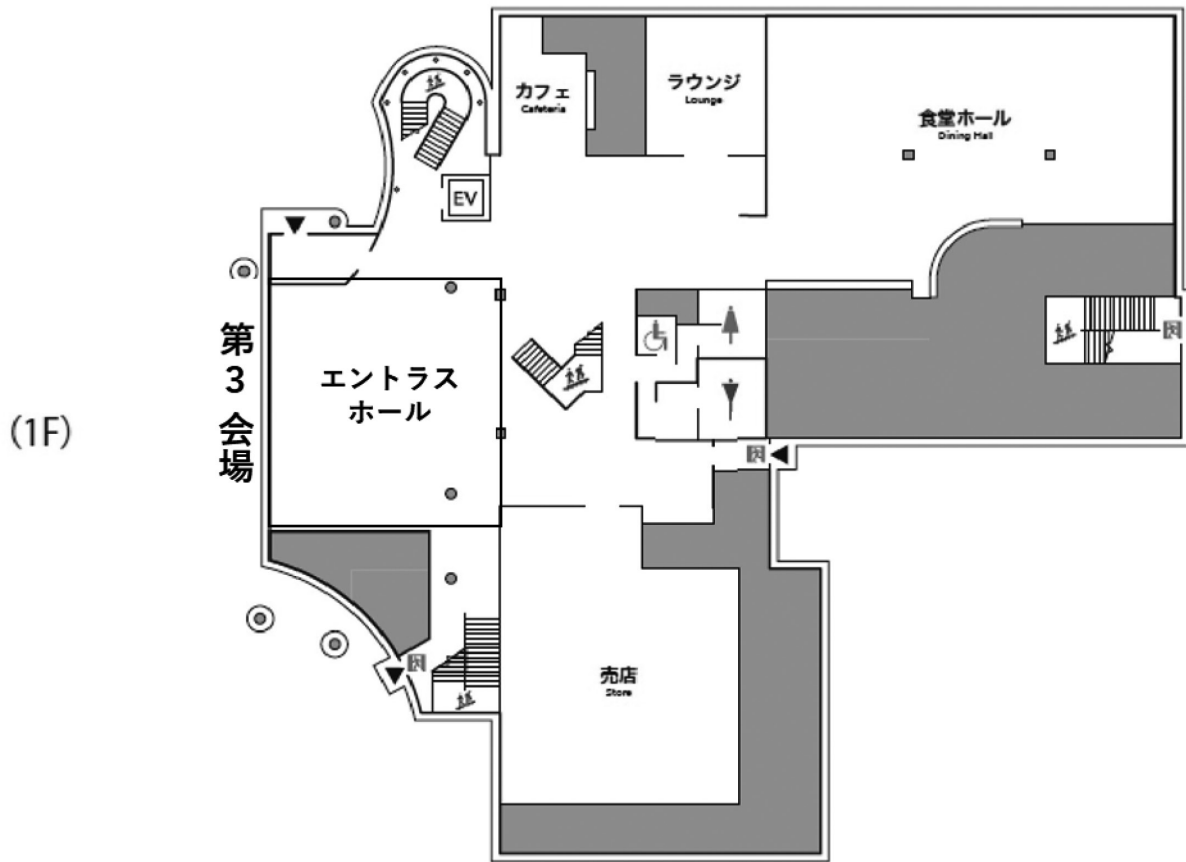
## ■ 仙台駅より会場までのアクセス

仙台駅	 <b>仙台市営バス</b> (仙台駅より約20分、180円)
	JR仙台駅西口バスプール発 10、15、16番乗り場 「大学病院経由〇〇〇」行き乗車 → 「バス停① 大学病院前」下車 東北大学医学部開設百周年記念ホール(星陵オーデトリウム)まで徒歩 約3分
	JR仙台駅西口バスプール発 60番乗り場 「交通局大学病院前」行き乗車 → 「②交通局大学病院前」下車 東北大学医学部開設百周年記念ホール(星陵オーデトリウム)まで徒歩 約5分
	* 市営バスは、多くの系統があります。 詳細及び最新情報は、仙台市交通局の市バス情報をご確認ください。
	 <b>仙台市営地下鉄</b> (仙台駅より約5分、200円)
	泉中央方面行きに乗車「北四番丁駅」にて下車(約5分) 北2出口より、山形方面へ徒歩 約15分
	 <b>タクシー</b> (仙台駅より約10分、1300円前後)
	JR仙台駅タクシープールより 「東北大学医学部入口(東北大学星陵キャンパス)」で下車 医学部入口から入って道なりにまっすぐ200m程歩いて頂くと会場が見えてきます。

(星陵オーデトリウム)・星陵会館  
東北大学医学部開設百周年記念ホール

※各所要時間は交通状況により異なります。

# 館内案内図



# ご参加の皆様へ

## 1. 開催概要

会期：2018年12月2日（日）

会場：東北大学医学部開設百周年記念ホール（星陵オーデトリウム）・医学部会議室  
〒980-8575 宮城県仙台市青葉区星陵町2-1

会長：竹石 恭知（福島県立医科大学 医学部 循環器内科学講座）

## 2. 参加費

医師・企業 5,000円

医師以外 3,000円

学生 無料 \*受付の際に、学生証をご提示ください。

## 3. 参加受付

会場入って正面に受付がございます。8時15分より受付を開始いたします。参加費をお支払の上、ネームカードをお受取りください。（事前登録はございません）参加のお支払は、現金のみでございます。ネームカードにお名前・ご所属をご記入の上、会場内ではご着用をお願いいたします。参加証は領収書を兼ねておりますので、再発行はいたしません。

## 4. プログラム抄録集

受付時に、無料で配布いたします。数に限りがございますので、ご了承ください。日本心臓リハビリテーション学会HP「<http://www.jacr.jp/web/region/tohoku3/>」の地方会のページよりダウンロードが可能です。

## 5. 心臓リハビリテーション指導士資格更新単位

本地方会は、日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士制度委員会より、登録更新にかかる認定講習会として認定を受けております。認定単位は、地方会参加で5単位、発表者は追加で3単位が付与されます。単位票は、参加受付時にお渡しいたします。必要事項をご記入の上、9時以降14時30分までに単位受付デスクへご提出ください。開催当日にご提出いただいたもののみ有効です。後日の受付はいたしませんので、必ず当日中にご提出ください。

## 6. クロークは御座いません。

## 7. 発表データの受付

8時15分よりPC受付にて行います。

## 8. ランチョンセミナーについて

整理券はございません。お時間になりましたら、直接会場へお越しください。

## 9. 支部幹事会

11時50分より2階 小会議室1にて開催いたします。

## 10. その他

会場内では、携帯電話・スマートフォンの電源を切るかマナーモードへの設定をお願いいたします。会長の許可のない撮影・録画・録音・掲示・展示・印刷物の配布は、固くお断りいたします。会場及び会場周辺は、禁煙です。会場内での呼び出しは出来ません。

### 演者の方へ（一般演題口演）

- ・発表時間は5分、質疑時間は2分となります。
- ・発表のセッション開始30分前までに、PC受付でご発表データをご確認ください。
- ・発表にご使用いただく機材は、会場備え付けのPCのみとなります。発表会場にはWindows7又は10のPCをご用意いたします。PCの持ち込みはできませんので、ご了承ください。
- ・発表データは、Microsoft Power Point 2007以降のいずれかで作成してください。MacintoshのKey Noteでデータ作成された場合もPDFかPower Pointに変換の上、WindowsPCで事前にご確認ください。
- ・発表データをお持ちいただくメディアは、USBメモリを使用してください。
- ・フォントは、Windows標準のフォントのみをご使用ください。Mac版Power Pointで作成される際は「Windows Office Compatible」フォントを使用してください。
- ・プロジェクターの出力解像度は、XGA（1024×768）に設定しております。
- ・動画ファイルはWindows Media Player11以降の初期状態に含まれるコーデックで再生できるものをご準備ください。動画単体の形式はWMV又はMP4形式を推奨します。尚、拡張子m2tsファイルは動かない事がありますので、WMV等に変換することをお奨めします。Mac版で作成されたものは動かない事があります。Power Point 2010以降は動画をスライドに埋め込む機能があります。ただし、2003互換で保存すると、その機能は失われます。
- ・ご発表は演台のキーパッドかマウスを使用し進めてください。演台上のモニターはスクリーンに投影されているものと同じものが表示されています。（発表者ツールは使用できません）

### 【事務局】

第3回東北支部地方会  
福島県立医科大学 循環器内科学講座  
担当：佐藤 崇匡  
〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地  
☎024-547-1190  
FAX 024-548-1821

# 日程表

	第1会場 2F 東北大学医学部開設百年記念ホール	第2会場 2F 大会議室	第3会場 3F エントランスホール	2F 小会議室1
8:15	8:15~			
8:30	受付開始			
9:00	9:00~9:05 開会式			
	9:05~9:40 一般演題1 心不全 座長：羽尾 清貴（東北大学）	9:05~9:40 一般演題2 多職種、心リハ運営 座長：池田 こずえ（篠田総合病院）		
9:30	9:40~10:40 特別講演① 「フレイルを伴った高齢心不全患者、DOPPOリハビリの果たす役割」 座長：下川 宏明（東北大学） 演者：和泉 徹（新潟南病院）	9:40~10:15 一般演題3 虚血性心疾患 座長：松岡 悟（秋田厚生医療センター）		
10:00		10:15~10:50 一般演題4 回復期/維持期リハ 座長：原田 卓（東北大学）		
10:30		10:50~11:25 一般演題5 フレイル/サルコペニア/栄養 座長：熊谷 亜希子（岩手医科大学）		
11:00	10:40~11:40 特別講演② 「臨床現場での保健指導の意義と可能性」 座長：竹石 恭知（福島県立医科大学） 演者：岡山 明（生活習慣病予防研究センター）			
11:30			機器展示	
12:00	11:50~12:40 ランチョンセミナー1 「CRT植込み患者の包括的リハビリテーション」 座長：渡辺 昌文（山形大学） 演者：白石 裕一（京都府立医科大学） 共催：日本メドトロニック株式会社	11:50~12:40 ランチョンセミナー2 「心臓リハビリテーションにおけるトピックス」 座長：吉田 俊子（宮城大学） 演者：神谷 健太郎（北里大学） 共催：フクダ電子南東北販売株式会社		11:50~12:20 支部幹事会
12:30		12:40~13:00 支部評議員会		
13:00	13:00~14:20 慢性心不全認定看護師協会共催企画 パネルディスカッション 「末期心不全患者の生活を支える心臓リハビリテーション」 座長：吉田 俊子（宮城大学） 上月 正博（東北大学） 演者：坂本 圭司（星総合病院） 梅木 恵（函館五稜郭病院） 丸子 扶美枝（山形済生病院） 藤本 貴子（青葉訪問看護ステーション）	13:00~13:35 一般演題6 外科手術 座長：伊藤 修（東北医科薬科大学）		
13:30		13:35~14:10 一般演題7 検査/運動負荷 座長：菅原 重生（日本海総合病院）		
14:00				
14:30	14:20~14:30 閉会式			

# プログラム

---





# プログラム

9:00-9:05 開会式 (第1会場)

9:40-10:40 特別講演① (第1会場)

座長：下川 宏明 (東北大学大学院医学研究科 循環器内科学分野)

演者：和泉 徹 (恒仁会新潟南病院)

「フレイルを伴った高齢心不全患者、DOPPOリハビリの果たす役割」

10:40-11:40 特別講演② (第1会場)

座長：竹石 恭知 (福島県立医科大学 循環器内科学講座)

演者：岡山 明 (生活習慣病予防研究センター)

「臨床現場での保健指導の意義と可能性」

11:50-12:40 ランチョンセミナー1 (第1会場)

共催：日本メドトロニック株式会社

座長：渡辺 昌文 (山形大学医学部附属病院内科学第一講座(循環・呼吸・腎臓内科学))

演者：白石 裕一 (京都府立医科大学大学院医学研究科 循環器内科学・腎臓内科学)

「CRT植込み患者の包括的リハビリテーション」

11:50-12:40 ランチョンセミナー2 (第2会場)

共催：フクダ電子南東北販売株式会社

座長：吉田 俊子 (宮城大学 看護学部)

演者：神谷 健太郎 (北里大学 医療衛生学部)

「心臓リハビリテーションにおけるトピックス」

13:00-14:20

慢性心不全認定看護師協会共催企画

パネルディスカッション

(第1会場)

末期心不全患者の生活を支える心臓リハビリテーション

座長：吉田 俊子 (宮城大学 看護学部)

上月 正博 (東北大学大学院医学研究科 内部機能障害学分野)

坂本 圭司 (星総合病院 循環器内科)

「末期心不全の医師の役割」

梅木 恵 (函館五稜郭病院)

「心不全と共にその人らしく生きるための心臓リハビリテーション」

丸子 扶美枝 (済生会山形済生病院)

「入退院をくりかえす高齢心不全患者の外来リハビリテーションの経験を通して」

藤本 貴子 (青葉訪問看護ステーション)

「高齢心不全患者が、望む在宅生活を続けるために」

座長：羽尾 清貴（東北大学）

**01. 長期間のリハビリテーションを必要とした体外式補助人工心臓から植込型補助人工心臓に転換した一症例**

久保田 智之<sup>1</sup>、菅野 健一<sup>1</sup>、嶋原 和昭<sup>1</sup>、大井 直往<sup>2</sup>、山本 晃裕<sup>3</sup>、佐藤 崇匡<sup>4</sup>

<sup>1</sup>福島県立医科大学附属病院 リハビリテーションセンター、

<sup>2</sup>福島県立医科大学附属病院 リハビリテーション科、<sup>3</sup>福島県立医科大学附属病院 心臓血管外科、

<sup>4</sup>福島県立医科大学附属病院 循環器内科

**02. 心臓リハビリテーションとペースメーカーのレートレスポンス機能設定により運動耐容能改善した1例**

工藤 壮永<sup>1</sup>、櫻田 雄大<sup>1</sup>、須藤 竜生<sup>1</sup>、葛西 真弓<sup>1</sup>、中嶋 吉規<sup>2</sup>、新谷 耕征<sup>2</sup>、内藤 貴之<sup>3</sup>

<sup>1</sup>あおり協立病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>あおり協立病院医療安全管理室、

<sup>3</sup>あおり協立病院循環器内科

**03. ご家族協力の下、心臓リハビリテーションによって自宅退院に繋がった心不全患者の一例**

日下 美佳<sup>1,2</sup>、長尾 光祥<sup>1</sup>、坂本 圭司<sup>2</sup>

<sup>1</sup>公益財団法人星総合病院リハビリテーション科、<sup>2</sup>公益財団法人星総合病院循環器内科

**04. 腰部脊柱管狭窄症を有する中等度大動脈弁狭窄症に対してCPXを施行した1例**

風穴 愛貴

八戸市立市民病院 リハビリテーション科

**05. 高齢心不全緩和ケア患者の看取りへのRRSの利用**

坂本 圭司<sup>1</sup>、飛田 亜莉紗<sup>2</sup>、斎藤 裕子<sup>2</sup>、長尾 光祥<sup>3</sup>

<sup>1</sup>公益財団法人 星総合病院 心臓病センター 循環器内科、<sup>2</sup>公益財団法人 星総合病院 看護部、

<sup>3</sup>公益財団法人 星総合病院 心臓リハビリ室

座長：池田 こずえ（篠田総合病院）

**06. 地域で介護に従事する多職種へのアンケート調査報告**

遠藤 教子<sup>1,2</sup>、舟見 敬成<sup>2</sup>、新妻 健夫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>長者2丁目かおりやま内科、<sup>2</sup>総合南東北病院 リハビリテーション科

**07. 福島県の浜通り地方における心臓リハビリテーションの現状と心肺運動負荷試験ができない当院における心臓リハビリテーションの導入**

山内 宏之

福島労災病院

**08. 「心不全カンファレンスシート」導入による多職種協働の効果と課題**

石井 玲<sup>1</sup>、竹谷 洋子<sup>2</sup>、船橋 彩美<sup>2</sup>、渡部 稲子<sup>2</sup>、乙供 亜美<sup>3</sup>、工藤 佑衣<sup>4</sup>、須藤 宗<sup>1</sup>、  
二宮 竜二<sup>1</sup>、貝塚 健<sup>1</sup>、羽田 量<sup>1</sup>、西崎 公貴<sup>5</sup>、櫛引 基<sup>5</sup>、今田 篤<sup>5</sup>

<sup>1</sup>青森県立中央病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>青森県立中央病院 看護部、

<sup>3</sup>青森県立中央病院 栄養管理部、<sup>4</sup>青森県立中央病院 薬剤部、<sup>5</sup>青森県立中央病院 循環器科

**09. 病棟看護師と訪問看護師の療養支援に関する意識調査  
～慢性心不全患者に対する療養支援の質向上を目指して～**

佐藤 瞳、保坂 沙紀子、福岡 優子、武田 麻未、清水 拓磨  
社会医療法人 明和会 中通総合病院 看護部

**10. 生活指導における看護師の役割  
～生活指導に難渋した事例を経験して～**

塚田 沙織  
公立大学法人福島県立医科大学医学部附属病院

**9:40-10:15 一般演題3【虚血性心疾患】（第2会場）**

座長：松岡 悟（秋田厚生医療センター）

**11. 当院における急性心筋梗塞クリティカルパス使用の状況と課題について**

鈴木 彩<sup>1</sup>、山口 峰<sup>1</sup>、佐藤 みな<sup>1</sup>、土屋 涼子<sup>1</sup>、清藤 祐輔<sup>1</sup>、長内 亜希子<sup>1</sup>、高田 直美<sup>1</sup>、  
西崎 史恵<sup>2</sup>、富田 泰史<sup>2</sup>

<sup>1</sup>弘前大学医学部附属病院第一病棟7階、<sup>2</sup>弘前大学大学院医学研究科循環器腎臓内科学講座

**12. 当院における急性冠症候群治療後の心肺運動負荷試験について**

水上 浩行、谷川 俊了、鈴木 智人、金澤 正晴  
公益財団法人湯浅報恩会寿泉堂総合病院

**13. 37分間の心肺停止後62日間昏睡状態を呈した急性心筋梗塞後低酸素脳症の一例  
～血圧低下に難渋した症例～**

村岡 祐太<sup>1</sup>、鈴木 孝氏<sup>1</sup>、原田 慎治<sup>1</sup>、池田 こずえ<sup>2</sup>

<sup>1</sup>医療法人 篠田好生会 篠田総合病院 リハビリセンター、

<sup>2</sup>医療法人 篠田好生会 篠田総合病院 循環器科

**14. MCTDを合併したAMI患者に対するリハビリテーションの経験**

渡邊 悠、長尾 光祥、鈴木 翔、本田 千陽、佐久間 理緒、坂本 圭司  
公益財団法人 星総合病院

**15. 運動誘発性左脚ブロックの一例**

羽尾 清貴、進藤 智彦、池田 尚平、菊池 翼、白戸 崇、松本 泰治、高橋 潤、  
下川 宏明

東北大学病院

**10:15-10:50 一般演題4【回復期/維持期リハビリテーション】（第2会場）**

座長：原田 卓（東北大学）

**16. 診療所での安全な心リハ介入に病診連携構築が重要であった糖尿病合併慢性  
心不全の一例**

芦間 美穂<sup>1,2</sup>、遠藤 教子<sup>4</sup>、加藤 敏徳<sup>2</sup>、高野 美江<sup>1</sup>、築川 真由美<sup>3</sup>、溝井 加奈子<sup>3</sup>、  
新妻 健夫<sup>4</sup>

<sup>1</sup>長者2丁目かおりやま内科看護部、<sup>2</sup>長者2丁目かおりやま内科運動療法部、

<sup>3</sup>長者2丁目かおりやま内科臨床検査部、

<sup>4</sup>長者2丁目かおりやま内科循環器内科心臓リハビリテーション科

**17. 下肢血管形成術から3年後のリハビリ介入で改善効果が得られた一症例より学んだこと**

加藤 敏徳<sup>1</sup>、遠藤 教子<sup>2</sup>、水上 浩行<sup>3</sup>、芦間 美穂<sup>4</sup>、高野 美江<sup>4</sup>、築川 真由美<sup>5</sup>、溝井 加奈子<sup>5</sup>、新妻 健夫<sup>2</sup>

<sup>1</sup>長者2丁目かおりやま内科運動療法部、

<sup>2</sup>長者2丁目かおりやま内科循環器内科心臓リハビリテーション科、<sup>3</sup>寿泉堂綜合病院循環器内科、

<sup>4</sup>長者2丁目かおりやま内科看護部、<sup>5</sup>長者2丁目かおりやま内科臨床検査部

**18. 回復期外来リハビリテーションでのチーム医療によって、心不全の悪化とサルコペニア予防につながった一例**

西田 百恵<sup>1</sup>、齋藤 夏絵<sup>1</sup>、本間 豪<sup>2</sup>、富樫 明菜<sup>3</sup>、齋藤 美保<sup>3</sup>、齋藤 百合<sup>3</sup>、吉田 直幸<sup>4</sup>、桐林 伸幸<sup>5</sup>、近江 晃樹<sup>5</sup>、菅原 重生<sup>5</sup>

<sup>1</sup>地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海綜合病院 栄養管理室、

<sup>2</sup>地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海酒田リハビリテーション病院 リハビリテーション科、

<sup>3</sup>地方独立行政法人 山形県・酒田市病院機構 日本海綜合病院 看護部、<sup>4</sup>同 リハビリテーション室、

<sup>5</sup>同 循環器内科

**19. 心不全入院患者の心臓リハビリテーションへの参加と再入院についての検討**

菅原 重生<sup>1</sup>、近江 晃樹<sup>1</sup>、桐林 伸幸<sup>1</sup>、齋藤 百合<sup>2</sup>、齋藤 美保<sup>2</sup>、富樫 明菜<sup>2</sup>、吉田 直幸<sup>3</sup>、小松 美和<sup>3</sup>、大沼 健<sup>3</sup>、西田 百恵<sup>4</sup>、本間 豪<sup>5</sup>

<sup>1</sup>日本海綜合病院 循環器内科、<sup>2</sup>同 看護部、<sup>3</sup>同 リハビリテーション室、<sup>4</sup>同 栄養管理室、

<sup>5</sup>日本海酒田リハビリテーション病院

**20. 定期外来リハを契機に偽腔への再疎通の早期発見に繋がったStanford A型急性大動脈解離術後の一症例**

工藤 尚也<sup>1</sup>、相原 健志<sup>1</sup>、高橋 裕介<sup>2</sup>、山谷 麻実子<sup>1</sup>、佐々木 郁子<sup>1</sup>、小武海 雄介<sup>4</sup>、新保 麻衣<sup>4</sup>、加藤 宗<sup>4</sup>、山中 卓之<sup>4</sup>、小坂 俊光<sup>3</sup>、飯野 健二<sup>4</sup>、渡邊 博之<sup>4</sup>

<sup>1</sup>秋田大学医学部附属病院 看護部、<sup>2</sup>秋田大学医学部附属病院 リハビリテーション部、

<sup>3</sup>秋田大学医学部附属病院 医療安全管理部、<sup>4</sup>秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学講座

10:50-11:25

一般演題5【フレイル、サルコペニア、栄養】（第2会場）

座長：熊谷 亜希子（岩手医科大学）

**21. 演題取り下げ**

**22. 高度肥満による心不全を呈した肥満心筋症に対し、心不全治療と共に長期包括的心臓リハが奏功した一例**

前川 芳輝<sup>1</sup>、太田 浩貴<sup>1</sup>、荒井 豊<sup>1</sup>、伊藤 大亮<sup>2</sup>、主藤 弘太郎<sup>3</sup>、矢作 浩一<sup>4</sup>、尾形 剛<sup>4</sup>、平本 哲也<sup>4</sup>

<sup>1</sup>栗原市立栗原中央病院 リハビリテーション科、

<sup>2</sup>東北大学大学院医工学研究科 健康維持増進医工学分野、<sup>3</sup>栗原市立若柳病院 リハビリテーション科、

<sup>4</sup>栗原市立栗原中央病院 循環器内科

**23. 当院における循環器疾患患者のサルコペニアの実態調査と栄養状態の関連性について**

渡邊 秋江<sup>1</sup>、渡辺 祐樹<sup>1</sup>、久保田 智之<sup>1</sup>、高野 純一<sup>1</sup>、小野 洋子<sup>1</sup>、大井 直往<sup>2</sup>、菅野 優紀<sup>3</sup>、一條 靖洋<sup>3</sup>、佐藤 崇匡<sup>3</sup>、義久 精臣<sup>3</sup>、竹石 恭知<sup>3</sup>

<sup>1</sup>福島県立医科大学附属病院 リハビリテーションセンター、

<sup>2</sup>福島県立医科大学附属病院 リハビリテーション科、<sup>3</sup>福島県立医科大学附属病院 循環器内科

## 24. 当院における心不全入院患者におけるBMIと栄養摂取の状況

本田 千陽<sup>1</sup>、佐久間 理緒<sup>1</sup>、坂本 圭司<sup>2</sup>

<sup>1</sup>公益財団法人 星総合病院 栄養科 心臓リハビリ担当、<sup>2</sup>公益財団法人 星総合病院 循環器科

## 25. 慢性心不全患者における栄養状態とサルコペニアの予後への影響 -CHART-2研究からの報告-

佐藤 雅之<sup>1</sup>、坂田 泰彦<sup>1,3</sup>、後岡 広太郎<sup>1,3</sup>、三浦 正暢<sup>1</sup>、阿部 瑠璃<sup>1</sup>、笠原 信太郎<sup>1</sup>、  
青柳 肇<sup>1</sup>、藤橋 敬英<sup>1</sup>、山中 信介<sup>1</sup>、白戸 崇<sup>1</sup>、杉村 宏一郎<sup>1</sup>、高橋 潤<sup>1</sup>、宮田 敏<sup>2</sup>、  
下川 宏明<sup>1,2,3</sup>

<sup>1</sup>東北大学 循環器内科学、<sup>2</sup>東北大学 循環器EBM開発学、

<sup>3</sup>東北大学 ビッグデータメディシンセンター

13:00-13:35

### 一般演題6【外科手術】(第2会場)

座長：伊藤 修 (東北医科薬科大学)

## 26. 急性期リハの重要性—術後覚醒遅延、ICUAWの症例を通して—

佐藤 志保<sup>1</sup>、川島 大<sup>2</sup>、齋藤 正博<sup>2</sup>、五十嵐 淳平<sup>1</sup>、佐藤 奈々<sup>1</sup>

<sup>1</sup>一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院リハビリテーション部、

<sup>2</sup>一般財団法人 竹田健康財団 竹田総合病院心臓血管外科

## 27. 胸骨正中切開による心大血管術後患者における筋肉量の変化についての検討

井口 敦弘<sup>1,2,3,4</sup>、金澤 正範<sup>2</sup>、関 貴裕<sup>1</sup>、豊田 舞子<sup>1</sup>、鈴木 さやか<sup>1</sup>、高橋 清勝<sup>1</sup>、  
地舘 美雪<sup>1</sup>、田中 結貴<sup>1</sup>、小田 克彦<sup>3</sup>、小田 桃世<sup>4</sup>、櫻田 義樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>岩手県立中央病院リハビリテーション技術科、<sup>2</sup>岩手県立中央病院循環器内科、

<sup>3</sup>岩手県立中央病院心臓血管外科、<sup>4</sup>岩手県立中央病院リハビリテーション科

## 28. 急性大動脈解離術後の起立性低血圧について

高橋 清勝<sup>1</sup>、鈴木 さやか<sup>1</sup>、小坂 直樹<sup>2</sup>、関 貴裕<sup>1</sup>、豊田 舞子<sup>1</sup>、水野 裕介<sup>1</sup>、  
井口 敦弘<sup>1</sup>、地舘 美雪<sup>1</sup>、金澤 正範<sup>4</sup>、田中 結貴<sup>1</sup>、櫻田 義樹<sup>1</sup>、高橋 俊明<sup>3</sup>、小田 克彦<sup>5</sup>

<sup>1</sup>岩手県立中央病院 リハビリテーション技術科、<sup>2</sup>岩手県立大槌病院 リハビリテーション技術科、

<sup>3</sup>岩手県立宮古病院 リハビリテーション科、<sup>4</sup>岩手県立中央病院 循環器内科、

<sup>5</sup>岩手県立中央病院 心臓血管外科

## 29. 急性大動脈解離で安静降圧療法を施行した患者における起立性低血圧の 発生頻度と発生要因に対する検討

関 貴裕<sup>1</sup>、金澤 正範<sup>2</sup>、豊田 舞子<sup>1</sup>、水野 裕介<sup>1</sup>、井口 敦弘<sup>1</sup>、高橋 清勝<sup>1</sup>、地舘 美雪<sup>1</sup>、  
田中 裕貴<sup>1</sup>、小田 桃世<sup>4</sup>、小田 克彦<sup>3</sup>、櫻田 義樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>岩手県立中央病院 リハビリテーション技術科、<sup>2</sup>岩手県立中央病院 循環器内科、

<sup>3</sup>岩手県立中央病院 心臓血管外科、<sup>4</sup>岩手県立中央病院 リハビリテーション科

## 30. 新設医学部大学病院としての心臓リハビリテーション診療の方向性

三浦 裕、高橋 麻子、伊藤 修

東北医科薬科大学病院

座長：菅原 重生（日本海総合病院）

### 31. 心臓リハビリの急性期歩行練習における血圧計付ワイヤレス12誘導心電計の使用経験

新保 麻衣<sup>1</sup>、相原 健志<sup>2</sup>、高橋 裕介<sup>3</sup>、工藤 尚也<sup>2</sup>、山谷 麻実子<sup>2</sup>、山中 卓之<sup>1</sup>、  
須藤 佑太<sup>1</sup>、加藤 宗<sup>1</sup>、阿部 起実<sup>1</sup>、小武海 雄介<sup>1</sup>、飯野 健二<sup>1</sup>、小坂 俊光<sup>4</sup>、渡邊 博之<sup>1</sup>

<sup>1</sup>秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学、<sup>2</sup>秋田大学医学部附属病院 看護部、

<sup>3</sup>秋田大学医学部附属病院 リハビリテーション部、<sup>4</sup>秋田大学医学部附属病院 医療安全部

### 32. 高血圧性心疾患による心不全に対する回復期リハビリテーションの効果

松岡 悟<sup>1</sup>、庄司 亮<sup>1</sup>、阿部 元<sup>1</sup>、田村 芳一<sup>1</sup>、齊藤 崇<sup>1</sup>、高橋 藍<sup>2</sup>、渡邊 瑞穂<sup>2</sup>、  
伊藤 雄平<sup>2</sup>、佐藤 奈菜子<sup>2</sup>、大高 みゆき<sup>3</sup>、佐藤 学<sup>3</sup>、熊谷 洋子<sup>3</sup>、佐藤 敏光<sup>3</sup>、  
柳澤 宗<sup>4</sup>、渡邊 博之<sup>5</sup>

<sup>1</sup>秋田厚生医療センター循環器内科、<sup>2</sup>秋田厚生医療センターリハビリテーション科、

<sup>3</sup>秋田厚生医療センター看護部、<sup>4</sup>アーク循環器クリニック、<sup>5</sup>秋田大学循環器内科学

### 33. 心電図12誘導胸部電極シールの工夫

鍛冶 優子<sup>1</sup>、石川 友里絵<sup>1</sup>、佐藤 健一<sup>1</sup>、武田 智<sup>2</sup>、伏見 悦子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>JJA秋田厚生連平鹿総合病院 リハビリテーション科、<sup>2</sup>JJA秋田厚生連平鹿総合病院 循環器内科

### 34. 心肺運動負荷中の耳朶血流変動幅の変化

高橋 裕介<sup>1</sup>、新保 麻衣<sup>2</sup>、小武海 雄介<sup>2</sup>、加藤 宗<sup>2</sup>、山中 卓之<sup>2</sup>、相原 健志<sup>3</sup>、  
工藤 尚也<sup>3</sup>、小坂 俊光<sup>4</sup>、飯野 健二<sup>2</sup>、渡邊 博之<sup>2</sup>

<sup>1</sup>秋田大学医学部附属病院 リハビリテーション部、<sup>2</sup>秋田大学大学院医学系研究科 循環器内科学、

<sup>3</sup>秋田大学医学部附属病院 看護部、<sup>4</sup>秋田大学医学部附属病院 医療安全管理部

### 35. 当院における外来心臓リハビリテーションの初期成績

金澤 正範<sup>1</sup>、豊田 舞子<sup>3</sup>、鈴木 さやか<sup>3</sup>、井口 敦弘<sup>3</sup>、高橋 清勝<sup>3</sup>、泉 聖也<sup>1</sup>、  
山田 魁人<sup>1</sup>、和山 啓馬<sup>1</sup>、門坂 崇秀<sup>1</sup>、加賀谷 裕太<sup>1</sup>、佐藤 謙二郎<sup>1</sup>、近藤 正輝<sup>1</sup>、  
遠藤 秀晃<sup>1</sup>、齋藤 雅彦<sup>2</sup>、高橋 徹<sup>1</sup>、中村 明浩<sup>1</sup>、野崎 英二<sup>1</sup>

<sup>1</sup>岩手県立中央病院 循環器内科、<sup>2</sup>岩手県立中央病院 総合診療科、

<sup>3</sup>岩手県立中央病院 リハビリテーション技術科